

(様式1)

## 職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和7年10月10日

①学校名:	九州工業大学		②所在地:	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1		
③課程名:	応用ソフトウェア開発支援士プログラム					
④正規課程/ 履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤定員:	10~50名(科目によって異なる)	⑥期間:	6か月	
⑦責任者:	生涯学習センター長 中荃 隆		⑧開設年月日:	令和5年11月17日		
⑨申請する課程 の目的・概要:	理工系人材が情報産業への転職および新規採用するための基礎教育を提供することを目的としたプログラムである。本プログラムでは、ITSSレベル3程度の能力獲得に向けた基礎知識とスキルの一部を身に付けることができる。社会的な意義としては、将来的に懸念される、高度な知識とスキルを持つIT人材の不足(質・量)の解決に寄与する。					
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護	9 起業	
	2 地方創生	4 DX ○	6 就労支援 ○	8 ビジネス等	10 防災危機管理	
⑪履修資格:	学校教育法102条に規定する大学院に入学することができる者 (大学卒業又はこれと同等以上の学力があると認められる者)					
⑫対象とする職 業の種類:	情報処理・通信技術者(職業分類表より)					
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・システム設計・開発・運用に必要な知識、技能 ・ソフトウェアの設計・開発に必要な知識、技能 ・情報技術全般に関する知識、技能					
	(得られる能力) ITSSレベル3程度の能力獲得に向けた基礎知識とスキルの一部を身につけることができる。					
⑭教育課程:	プロジェクトマネジメント学(必修:ソフトウェアプロセスに基づく自己マネジメント)にてソフトウェア開発において必要不可欠なタスク管理や品質管理等を学びつつ、各種プログラミング科目(基礎から学べるPython、基礎から学べるC)にて実践的なコーディング技術を修得する。 さらに、ネットワーク技術も含めた最先端の組み込みプログラミング(IoT時代の組み込みプログラミング)について修得しながらソフトウェア開発技術を深めつつ、受講生の応用先や興味に合わせた選択科目(実践演習・APIを活用したソフトウェア設計、データ変換が直接表現できるElixir言語で学ぶIoT応用、ウェブサイトの構築を通じて学ぶクラウド基礎、基礎から学べるスマートコントラクト開発)にて技術の幅を広げる。					
⑮修了要件(修 了授業時数等):	指定の4科目を受講し、総合評価にて合格(100点満点中60点以上)すること。					
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	「九州工業大学応用ソフトウェア開発支援士」の称号、本プログラムの履修証明書					
⑰総授業時数:	108	時間	⑱要件該当 授業時数:	108	時間	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:
						100 %
⑳該当要件	企業等	○	双方向	○	実務家	○
					実地	

⑩成績評価の方法:	課題の提出状況、小テストの成績、プレゼンテーションの内容等総合的に判断して成績評価を行う。
⑪自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「リカレント・リスキル教育推進室会議」において、本プログラムの内容や成果に対する検証や評価を行う。
⑫修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者にアンケートを実施し、本プログラムの効果を検証する。
⑬企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 参画企業の講師陣と毎年教育課程の編成の検討を行う会議を開催している。
	(自己点検・評価) 教育本部長など学内メンバー及び産業界で活躍する者により組織する九州工業大学産学連携教育審議会において、産業界からの意見を取り入れ、産業界に必要な人材像とその教育方法を審議することにより、課程の自己点検・評価を行う際に企業等の意見を取り入れ、外部意見について課程に反映させていく。
⑭社会人が受講しやすい工夫:	eラーニング、オンライン授業
⑮ホームページ:	(大学HP) <a href="https://www.kyutech.ac.jp/exchange/public-course.html">https://www.kyutech.ac.jp/exchange/public-course.html</a> (大学子会社であるKyutechARISE) <a href="https://www.kyutech-arise.co.jp/course/software/">https://www.kyutech-arise.co.jp/course/software/</a>

---
